

**ワーク名** フレックス大学院シンポジウム／セミナー I

ワーク英語名 International Symposia / Seminars I

担当教員: 松葉 豪、古川 英光 他

担当教員の所属: 大学院有機材料システム研究科・大学院理工学研究科

開講学年: 1年 開講学期: 通年 単位数: 0 開講形態: シンポジウム／セミナー

開講対象: フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 科目区分: 必修

**【授業概要】**

## ・ テーマ

フレックス大学院において、学生同士が協力して国際シンポジウム/セミナーを企画し開催する。

本ワーク I では、フレックス大学院で開催される国際学会(SmaSys)、シンポジウム/セミナーでの口頭発表を通して、プレゼン力や英語力を身につけて、将来グローバルに活躍できる人材になるための足がかりとする。

## ・到達目標

フレックス大学院において開催されるシンポジウム/セミナーにおいて、英語での口頭発表およびその討論が出来るようになる。

## ・キーワード

グローバル力、英語力、プレゼンテーション力、実践力

**【科目の位置付け】**

本ワークは、国際学会 SmaSys やセミナーでの発表についてのワークです。

フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院生のための必修ワークであり、主体性を身につけるためのカリキュラムとして位置付けられています。

有機材料システム専攻で開講される「グローバルコミュニケーション演習 I」とセットで履修することを前提にしています。

**【ワーク計画】**

## ・授業の方法:

シンポジウム/セミナー(国際学会 SmaSys など)への参加登録、アブストラクトの提出、英語での口頭発表およびその討論。

## ・内容:

本ワーク I では、フレックス大学院において開催される国際シンポジウム(SmaSys)/セミナー等への参加、英語での口頭発表およびその討論を行うことを内容とします。

グローバルコミュニケーション演習 I では、英語プレゼンの練習、議論・討論などを行います。

**注意事項:**

1. 詳細はグローバルコミュニケーション演習 I の第一回目のオリエンテーションに出席し、詳細を確認すること。

**【学習の方法】**

## ・受講のあり方:

グローバルコミュニケーション演習 I で行われる発表練習、英語の討論に出席し、プレゼン力、実践力を磨くこと。

## ・授業時間外学習へのアドバイス:

シンポジウム/セミナーの時間以外でも、自発的に準備・練習に取り組んで欲しい。

**【成績の評価】**

## ・基準:

開催される国際シンポジウム(SmaSys)/セミナーの準備・練習・本番への参加および取り組み姿勢を総合的に評価する。

・方法:

SmaSys(1年次)やセミナー等への取り組みを、各100点満点で採点し、上記平均点で評価する。

・表示:

成績評価をS、A、B、C、Fの標語をもって表し、単位欄には0又は無表示とする。

・時期:

1年次の後期。

【テキスト・参考書】:

なし

【学生へのメッセージ】:

プレゼン力を磨くいい機会になります。良い発表ができるように頑張りましょう。

必ず、グローバルコミュニケーション演習Iの第一回目のオリエンテーションに参加してください。

【オフィス・アワー】:

松葉: gmatsuba@yz.yamagata-u.ac.jp に問い合わせください。